

八多小学校だより

令和元年度
7月号
神戸市立八多小学校



人を育むのは人

6月に発行されたPTA広報紙「はなみずき」の先生紹介の「八多に来てびっくりしたことは？」の質問の部分で、私は、「みんなよい子に（中学生も含めて）びっくり」と書きました。決して小さい子供に対して言う「賢いね。いい子やね。」ではありません（そのように声かけすることもたいせつですが）。八多小学校の子供たちの明るさや人懐こさとともに中学生のあいさつのよさと小学生へのやさしい眼差しを見て、強くそう思ったのです。3か月を過ぎた今も、その思いは全く変わっていません。なぜ、八多の子供たちは、「よい子」なのでしょう。

6月、2年生は、町探検で行く先々の訪問先でお世話になりました。3、4年生は、はなみずき会の交流に行き歓迎されました。八多音頭を踊る会では、幼小中の子供たちが、地域の方々とともに八多音頭を楽しみました。私も赤い法被を着て踊りました。いい時間を過ごしました。その他にも、これまで、たくさんの地域の取組がありました。八多の子供たちは、このように「地域の宝」として大事に育てられてきたので、大人を、人間を信頼することができるのです。

神戸の教育理念は「人は人によって人になる」です。様々な科学技術の発展で「AIにより未来の社会はこうなる」的なことが言われています。しかしその社会を担う人を「育む」ことは、人にしかできません。それも信頼関係があってこそです。私たち教職員も心して教育活動に取り組み、1学期を締めくくります。

子供たちを見守り育むために

【防犯について】

本校区には、子供たちの身近な存在としての駐在所があります。大阪での事件や不審者事案が発生した時にも、いち早く駆けつけ、パトロールを強化していただきました。本当にありがたいです。しかし、校区すべてを24時間見守ることはできません。犯罪を防ぐには地域の持っている「コミュニティ力」が有効だそうです。

○道をすれ違う人がお互い挨拶をする。

（犯罪を企てようとしていても、挨拶をされ顔を覚えられたかもしれないと思い犯行を留まる）

○子供の下校や外遊びの時間に合わせて散歩をする。

○子供の下校に合わせて、家の前や近所に出ておく。

○不審者を見かけたら、すぐに110番する。

これらに加えて本校は、子供たちを知っている大人が地域に多いのも強みです。

子供たちには、「いかのおすし」を繰り返し指導しています。日が長くなっているため遅い時刻まで外出することもあるかもしれませんが、十分にご注意ください。

教頭 若松和弘

自然学校（給食交流会を通して）

「楽しく一緒に学習しよう ～助け合い 協力～」について

5月16日（木）～20日（月）に5年生は自然学校に行きました。保護者の皆様におかれましては、事前の準備からお見送り、お出迎え等、多くのご支援をいただきました。あらためましてお礼申し上げます。この行事を通しての、子供たちの様子について紹介します。

5年生最大の行事「自然学校」。不安もあったでしょうが、子供たちは「早く行きたい。」と期待に胸を膨らませていました。その自然学校の目標は、「楽しく一緒に学習しよう ～助け合い 協力～」です。今年度も八多小学校だけでなく、大沢小学校との合同開催です。交流を深めるため、そして自然学校が円滑に進行するために事前の5/10（金）に給食交流会が行われました。給食交流会では、以下の活動をしました。

- ①自己紹介
- ②しおり配付・5日間のプログラム確認
- ③活動班内の係分担
- ④係ごとの役割分担
- ⑤朝の体操練習
- ⑥給食交流会



この自然学校では、目標「楽しく一緒に学習しよう ～助け合い 協力～」を多くの場面で達成できました。

それは八多小だけでなく、大沢小の子供たちとの交流があったからだと思います。子供たちには、この自然学校での経験や学びをこれからの学校生活でも生かしてほしいと思います。



5年担任 岩本 幸剛